

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
高知県地域福祉部障害保健福祉課内
高知県精神保健福祉協会
電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
FAX：088(823)9260
E-mail：kochi-mhwa@s2.dion.ne.jp
発行人 井上 新平 編集人 谷 晃

第247号

第51回高知県精神保健福祉大会

「つながりあって生きる」

～生活の場面からみえてくる発達障害～

平成23年10月19日(水) 県民文化ホール(グリーン)

人間はこの世に生を受けてからは、一人ぼっちではなく、常に他人との関わりを持ちながら生活をしていくこととなります。まず家庭での両親、兄弟たちとの関係が始まり、幼少期には保育園や幼稚園での集団生活の中に入っていきます。たいていの子は最初は不安でいっぱいだが、次第に集団生活に順応できるようになります。

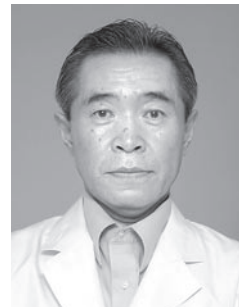
しかし、不安が強すぎたり何となく他の子と違って、集団での遊びや団体行動がとれずになじめず友達も作れずに孤立してしまう子もいます。そういった子はやがて就学しても、授業に集中できず落ち着きなく教室を出たり入ったりしたり、奇声を発したり、場にそぐわない言動をとったりして集団に適応できず勉強についていけなかったり、学校の行事に参加するのが苦手となり行きづらくなり、休みがちとなり不登校になってしまいます。家庭で暴力をふるったりするケースもあります。教師や家庭もどのように接してあげれば良いか分からなくなり、しかるべき機関や病院などに相談に行っても一定期間だけの支援で終わったりします。何とか卒業し進学したり社会に出ても、周囲とのコミュニケーションが上手いかず、短期間で仕事を辞めたり職を転々としたり、ドロップアウトしてニートになったりし、社会の中での自分の居場所が見つからず

前にもまして孤立し、日常生活や社会生活に生きづらさを強く感じて苦悩するようになります。そういった状況が長期化すると気分の障害、行動やパーソナリティの障害をきたすようになり、精神科を受診するようになる場合もあります。

しかし、生きづらさの原因が何か本人も周囲の人も理解

できず、どこに相談すればいいのかわからなくなり、当事者だけで問題を抱え込み泥沼から脱出できない状況に陥ります。そういった生きづらさを抱えている人達に、生きる希望を持ってもらうためにどのように理解し、どのような支援ができるかという思いから、「つながりあって生きる」～生活の場面からみえてくる発達障害～というテーマで第51回精神保健福祉大会を企画させていただきました。発達障害という言葉が家庭、学校、社会での生きづらさのキーワードになると思います。1人でも多くの人に大会に参加していただき自分と周囲の人とのつながりについて考えるきっかけにいただけたら幸いに存じます。

(大会詳細については、P4をご覧ください。)



大会実行委員長
徳平繁行
(田辺病院院長)

目次

第51回高知県精神保健福祉大会	1
平成23年度の協会の活動について	2

「高知県精神保健福祉基金」公募要領	3
精神保健福祉大会	4
精神保健福祉卓球大会の結果について	4

平成23年度の協会の活動について

高知県精神保健福祉協会会長 井上 新平

この度の東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。震災の影響は計り知れないもので、今もなお被害の全容が見えないばかりでなく、復旧の見通しがもてていません。また予想される南海大地震への備えの心構えが、これまでとは全く違ってきたという意味でも大きな影響を受けました。協会においても、これまでの活動を踏まえて今後の震災対策を検討していく必要性を感じております。

さて、本年も定例総会と理事会での検討を踏まえて、各事業部の活動を計画していただきましたので、概略を紹介いたします。

広報部では、機関紙「高知 精神保健」の発行と精神保健福祉大会に向けた座談会を行います。また昨年立ち上がったホームページの充実を図る予定です。

大会実行委員会は、10月19日開催予定の県大会に向けて準備いたします。大会テーマは「つながりあって生きる ～生活の場面から見えてくる発達障害～」で、北海道大学の田中康雄教授のご講演とシンポジウムがもたれます。場所は改装工事が終わった県民文化ホール(グリーン)です。

総合福祉部は例年通り卓球大会、ソフトボール大会、文化交流会を持ちます。卓球大会は6月28日(県民体育館)、ソフトボール大会は10月5日(春野総合運動公園)、文化交流会は平成24年2月28日(県民文化ホール)の予定です。

調査研究部は、高知県立大の教員を中心に「自殺未遂患者へのアセスメントと介入に関する意識調査」のテーマで取り組みます。2年目の今年は、医療従事者へのアンケート調査を実施し、データ分析と報告書作成を計画しています。

研修委員会では、8月～12月に5回シリーズで「精神保健福祉従事者リフレッシュ研修」を行い、11月頃に「地域での研修会及び交流会」と香美市で開催いたします。

基金管理運営委員会は、例年通り社会復帰施設への貸付事業を行います。借入限度額は2百万円で、償還期間は1年以内、融資利率は無利子です。

さて昨年、当協会は「保健文化賞」を受賞し、賞金として2百万円贈呈されました。その使い道を検討した結果、協会の基盤整備、県内精神保健福祉機関への研究助成、東日本震災地域への義援金の3つに使用することといたしました。研究助成については、追って詳しい案内をいたしますので、ご応募いただければありがたく存じます。

本年度も皆さま方のご支援をよろしくお願いいたします。

(※本文中の助成事業については、右ページの「高知県精神保健福祉基金」公募要領をご参照ください。)

「高知県精神保健福祉基金」公募要領

- 主 務 高知県精神保健福祉協会
- 助成総額 1,000千円
- 目 的 本協会は、高知県における精神保健の保持増進を図り県民の福祉に寄与することを目的として活動している団体である。今回「保健文化賞」受賞によりいただいた賞金の一部を地域で精神保健福祉に関して普及・啓発等に尽力されている方々に支援を行う事を目的として基金を設立した。
- 助成概要
1. 対象者 ①精神保健福祉に関する諸活動を行う個人又は団体
②高知県内に居住、または事業所を有している者
③宗教活動、政治活動、選挙活動を目的とする活動、暴力団若しくは暴力団の統制下にある活動を目的とする団体ではないこと
 2. 助成金 1件10万円を上限とする。
 3. 募集方法 助成希望者は助成金申請書を高知県精神保健福祉協会事務局宛提出するものとする。
 4. 募集期間 平成23年10月10日～12月9日
 5. 助成者の決定
1月に開催する選考委員会において選考を行い、当協会理事会で決定し、2月頃助成する。

※詳細は、当協会ホームページを御覧ください。 <http://kochi-mhwa.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ先 高知県精神保健福祉協会事務局(担当:高橋)
〒780-8570
高知市丸ノ内1-2-20 県障害保健福祉課内
TEL 088 (823) 9669
FAX 088 (823) 9260
E-mail:kochi-mhwa@s2.dion.ne.jp

訃報

当協会副会長 幡手静幸 氏におかれましては、平成23年8月24日御逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

高知県精神保健福祉協会

からだ・くらし・すこやかに



www.ds-pharma.co.jp

第51回高知県精神保健福祉大会
**「つながりあって生きる
 ～生活の場面からみえてくる発達障害～」**

入場無料

講師

北海道大学大学院教育学研究院
 附属子ども発達臨床研究センター
 教授 **田中 康雄**



プロフィール

精神保健指定医
 児童精神科医
 臨床心理士
 1958年7月26日、栃木県生まれ

プログラム

- PM1:00 開会あいさつ 高知県精神保健福祉協会会長 井上 新平
 来賓あいさつ 高知県知事 尾崎 正直
 高知市長 岡崎 誠也
 高知県医師会会長 永野健五郎
- PM1:20 表彰式
- PM1:30 休憩
- PM1:35 アトラクション 藤戸病院デイケア
 コーラスグループ「HAZAMACER'S (ハザマッカーズ)」
- PM1:45 休憩
- PM1:50 講演「つながりあって生きる」
 ～生活の場面からみえてくる発達障害～
 講師 北海道大学大学院教育学研究院
 附属子ども発達臨床研究センター教授 田中 康雄
- PM3:20 休憩
- PM3:30 シンポジウム「つながりあって生きる」～それぞれの立場から～
 シンポジスト
 「仲間と育つ 地域で生きる」
 特定非営利活動法人高知県自閉症協会理事 川田 仁愛
 「地域と連携し広げよう支援の輪」
 高知県立療育福祉センター発達支援部長 田村 謙二
 「職場につなげるサポート」
 (独)高齢・障害者雇用支援機構高知障害者職業センター
 主任障害者職業カウンセラー 植木 康敬
 助言者 北海道大学大学院教育学研究院
 附属子ども発達臨床研究センター教授 田中 康雄
 座長 高知大学保健管理センター講師 北添 紀子
- PM4:25 閉会あいさつ 高知県精神保健福祉協会副会長 明神 和弘

【主催】 高知県精神保健福祉協会
 【事務局】 高知県精神保健福祉協会 高知市丸ノ内1-2-20
 高知県地域福祉部障害保健福祉課内 TEL 088 (823) 9669

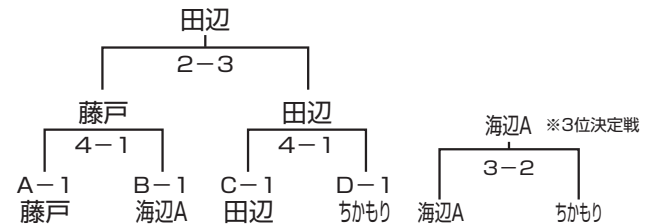
平成23年度 高知県精神保健福祉卓球大会の結果について

高知県精神保健福祉協会 総合福祉部

- I と き 平成23年6月28日(火)
- II ところ 高知県民体育館(高知市棧橋通2丁目)
- III 日程 開会式 9:15 試合開始 9:30
 閉会式 15:10
- IV 参加団体 14施設
 土佐病院、海辺の杜ホスピタル、藤戸病院、同仁病院、高知ハーモニー・ホスピタル、細木ユニティ病院、石川記念病院、南国病院、高知ダルク、施設連合、一陽病院、田辺病院、芸西病院、メンタルクリニックちかもり
- V 個人戦
 男子個人戦優勝 …………… 田辺病院
 男子個人戦準優勝 …… 高知ハーモニー・ホスピタル
 女子個人戦優勝 …………… 高知ハーモニー・ホスピタル
 女子個人戦準優勝 …………… 藤戸病院

●団体戦の結果

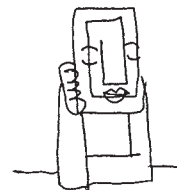
優勝 田辺病院 第3位 海辺の杜 A
 準優勝 藤戸病院 第4位 メンタルクリニックちかもり



精神科医療の
 真のパートナーを
 目指して

吉富薬品株式会社
 大阪市中央区北浜 2-6-18
<http://www.yoshitomi.jp/>

たとえば、
 ナイチンゲールだったら
 どうするだろう、
 と考えてみる。



彼女の直筆の文字を使った
 このマークを見るたびに、いつも、
 自分たちに問いかけています。



ヒューマン・ヘルスケア企業 エーサイ
<http://www.eisai.co.jp>